

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東
 コード番号 3758 URL http://www.aeria.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)上野 哲郎 (TEL) 03(3587)9574
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	5,642	95.2	1,480	—	1,497	—	898	—
28年12月期第2四半期	2,891	108.8	△29	—	11	—	△66	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 910百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △208百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	56.74	55.31
28年12月期第2四半期	△4.39	—

平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

29年12月期第2四半期 1,784,124千円 (497.2%) 28年12月期第2四半期 298,747千円

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

29年12月期第2四半期 963,077千円 (469.5%) 28年12月期第2四半期 169,115千円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	11,913	7,414	60.8
28年12月期	7,775	4,058	50.2

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 7,239百万円 28年12月期 3,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	137.0	3,500	—	3,600	—	2,400	—	151.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年12月期2Q	8,302,510株	28年12月期	7,529,648株
29年12月期2Q	25,997株	28年12月期	25,997株
29年12月期2Q	7,913,186株	28年12月期2Q	7,503,681株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13
3. その他	14
継続企業の前提に関する重要事象等	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く、景気は緩やかな回復の兆しを見せております。その一方で、米国の新政権による政策動向や北朝鮮問題、欧州の政治動向等のリスク要因により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが展開しているインターネット関連事業においては、スマートフォン・タブレット端末の普及に伴い、インターネット利用者数の増加やEC（電子商取引）市場の拡大等を背景として、引き続き成長を続けております。さらに、コンテンツサービスの多様化が市場規模を拡大しており、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツ市場においても継続的な成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。

このような状況の下、当社グループは、コア事業と位置付けるITサービス事業について安定した収益基盤を固め、コンテンツ事業においても、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業及び配信・運営事業を強化するとともに、子会社各社の強みを生かし、これまでのマス・マーケットからターゲット層を絞ったニッチ・マーケットでの基盤を作り、展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,642,928千円（前年同期比95.2%増加）、営業利益1,480,667千円（前年同期は営業損失29,199千円）、経常利益1,497,528千円（前年同期は経常利益11,108千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益898,042千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失66,026千円）となりました。

また、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は1,784,124千円、のれん償却前四半期純利益（親会社株主に帰属する四半期純利益＋のれん償却額）は963,077千円となりました。

なお、当社グループでは、M&Aを活用した事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していくなかで、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDAを経営指標として採用しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（ITサービス事業）

ITサービス事業につきましては、オンライン電子出版に特化したアフィリエイトプラットフォーム事業を行う株式会社ファーストペンギン、及びデータサービス事業を行う株式会社エアネットが安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は1,958,930千円（前年同期比0.9%減少）、営業利益は211,784千円（前年同期比11.4%増加）となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲームの開発、配信及び運営並びにオンラインゲームの配信及び運営、ドラマCDやボイスCD、キャラクターグッズの販売等を行っております。スマートフォン向けゲーム「A3!（エースリー）」の収益が好調に推移したことにより売上高、営業利益とも増加しております。

以上の結果、売上高は3,735,813千円（前年同期比292.1%増加）、営業利益は1,290,436千円（前年同期は営業損失206,291千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、11,913,364千円で、前連結会計年度末に比べ4,138,330千円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,442,653千円増加し、7,861,724千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ695,676千円増加し、4,051,639千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ780,105千円増加し、4,145,679千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,183千円増加し、352,718千円となりました。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使による新株発行及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、前連結会計年度末に比べ3,356,041千円増加し、7,414,967千円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,379,515千円増加し、5,440,199千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は1,130,127千円(前年同期は613,336千円の増加)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益1,480,649千円(前年同期は税金等調整前四半期純損失14,880千円)、減価償却費238,421千円(前年同期は92,803千円)、のれん償却額65,035千円(前年同期は235,142千円)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は348,243千円(前年同期は111,932千円の減少)となりました。これは主として無形固定資産の取得による支出315,988千円(前年同期は200,123千円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は1,396,379千円(前年同期は151,322千円の減少)となりました。これは主として新株予約権の権利行使による新株発行による払込1,493,535千円があったものの、配当金の支払額73,809千円(前年同期は74,098千円)、短期借入金の返済による支出11,778千円(前年同期は31,459千円)、長期借入金の返済による支出59,678千円(前年同期は40,622千円)があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、スマートフォン向けゲーム「A3! (エースリー)」の収益が好調に推移しており、第3四半期以降においても引き続き業績は堅調に推移していくものと予想しております。

以上を踏まえ、通期業績予想が、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を上回る見込みとなったため、本日付で修正いたしました。詳細につきましては、平成29年8月14日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,061,763	5,505,199
受取手形及び売掛金	1,060,770	2,053,755
商品	68,213	76,917
仕掛品	8,987	17,971
繰延税金資産	57,882	73,522
その他	163,763	136,694
貸倒引当金	△2,311	△2,336
流動資産合計	4,419,071	7,861,724
固定資産		
有形固定資産	101,691	184,955
無形固定資産		
のれん	1,073,081	1,736,758
ソフトウェア	347,370	366,450
その他	157,273	147,202
無形固定資産合計	1,577,726	2,250,411
投資その他の資産		
投資有価証券	300,551	334,487
関係会社株式	257,747	250,357
長期貸付金	685,915	661,000
繰延税金資産	52,102	76,851
その他	473,653	389,814
貸倒引当金	△93,424	△96,239
投資その他の資産合計	1,676,545	1,616,273
固定資産合計	3,355,963	4,051,639
資産合計	7,775,034	11,913,364

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,416	365,507
短期借入金	228,487	271,709
1年内返済予定の長期借入金	253,207	243,679
1年内償還予定の社債	50,000	-
未払費用	128,133	87,698
未払法人税等	100,087	670,695
賞与引当金	28,986	18,800
預り金	1,930,494	2,052,194
その他	252,760	435,395
流動負債合計	3,365,573	4,145,679
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	148,405	143,254
繰延税金負債	126,990	102,954
役員退職慰労引当金	27,633	32,983
退職給付に係る負債	20,633	22,076
資産除去債務	16,586	34,413
その他	285	7,036
固定負債合計	350,534	352,718
負債合計	3,716,108	4,498,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	854,857
資本剰余金	5,482,245	7,159,035
利益剰余金	△1,780,396	△882,354
自己株式	△23,966	△23,966
株主資本合計	3,777,882	7,107,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,468	76,186
為替換算調整勘定	72,957	55,883
その他の包括利益累計額合計	123,425	132,070
新株予約権	13,768	51,013
非支配株主持分	143,849	124,311
純資産合計	4,058,925	7,414,967
負債純資産合計	7,775,034	11,913,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,891,181	5,642,928
売上原価	1,710,262	2,017,173
売上総利益	1,180,919	3,625,754
販売費及び一般管理費	1,210,118	2,145,087
営業利益又は営業損失(△)	△29,199	1,480,667
営業外収益		
受取利息	36,078	43,578
受取配当金	5,816	2,828
受取手数料	112,497	-
その他	16,139	8,924
営業外収益合計	170,532	55,330
営業外費用		
支払利息	5,990	6,724
為替差損	97,008	27,374
持分法による投資損失	16,586	1,110
その他	10,639	3,260
営業外費用合計	130,224	38,469
経常利益	11,108	1,497,528
特別利益		
固定資産売却益	526	-
投資有価証券売却益	-	408
その他	423	-
特別利益合計	950	408
特別損失		
投資有価証券売却損	14,647	-
関係会社株式評価損	5,439	4,292
減損損失	-	580
特別退職金	-	12,414
その他	6,852	-
特別損失合計	26,939	17,287
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,880	1,480,649
法人税、住民税及び事業税	93,817	644,373
法人税等調整額	△47,784	△65,651
法人税等合計	46,033	578,722
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,913	901,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,113	3,884
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,026	898,042

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,913	901,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,573	27,704
為替換算調整勘定	△60,786	△17,320
持分法適用会社に対する持分相当額	△32,853	△1,986
その他の包括利益合計	△147,213	8,397
四半期包括利益	△208,127	910,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△213,240	906,686
非支配株主に係る四半期包括利益	5,113	3,638

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,880	1,480,649
減価償却費	92,803	238,421
減損損失	-	580
長期前払費用償却額	16,431	2,022
のれん償却額	235,142	65,035
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,382	2,839
受取利息及び受取配当金	△41,895	△46,406
支払利息	5,990	6,724
為替差損益(△は益)	95,907	22,455
持分法による投資損益(△は益)	16,586	1,110
固定資産売却損益(△は益)	△526	-
投資有価証券売却損益(△は益)	14,647	△408
関係会社株式評価損	5,439	4,292
売上債権の増減額(△は増加)	335,363	△873,690
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,244	△17,726
仕入債務の増減額(△は減少)	62,211	24,819
預り金の増減額(△は減少)	△102,950	119,361
その他	△3,865	186,388
小計	700,778	1,216,469
利息及び配当金の受取額	5,253	3,204
利息の支払額	△5,706	△6,794
法人税等の還付額	3,337	7,841
法人税等の支払額	△90,325	△90,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	613,336	1,130,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150	△65,000
定期預金の払戻による収入	-	1,080
有形固定資産の取得による支出	△8,973	△66,545
有形固定資産の売却による収入	1,404	-
無形固定資産の取得による支出	△200,123	△315,988
投資有価証券の取得による支出	△1,251	-
投資有価証券の売却による収入	67,802	408
持分法適用会社からの配当金受領額	131,350	-
長期前払費用の取得による支出	△1,397	△4,373
差入保証金の差入による支出	△100,593	△7,825
差入保証金の回収による収入	-	100,000
貸付けによる支出	△17,500	△162,500
貸付金の回収による収入	17,500	162,500
その他	-	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,932	△348,243

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	55,000
短期借入金の返済による支出	△31,459	△11,778
長期借入れによる収入	-	45,000
長期借入金の返済による支出	△40,622	△59,678
社債の償還による支出	-	△50,000
株式の発行による収入	-	1,493,535
自己株式の取得による支出	△30	-
配当金の支払額	△74,098	△73,809
非支配株主への配当金の支払額	△5,112	△5,184
新株予約権の発行による収入	-	3,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,322	1,396,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,347	△17,889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	301,733	2,160,373
現金及び現金同等物の期首残高	3,296,405	3,060,683
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	-	219,141
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	264	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,598,404	5,440,199

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 当社は、平成29年6月5日に当社を完全親会社、株式会社アリスマティックを完全子会社とする株式交換を実施し、新たに株式を153,062株発行いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本準備金が984,188千円増加し、同額の資本剰余金が増加しております。
2. 当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、資本金が754,857千円、資本準備金が754,857千円増加しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	ITサービス (千円)	コンテンツ (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,960,796	930,385	2,891,181	—	2,891,181
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,217	22,413	38,630	△38,630	—
計	1,977,013	952,799	2,929,812	△38,630	2,891,181
セグメント利益又は損失(△)	190,029	△206,291	△16,261	△12,937	△29,199

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに帰属しない全社費用△6,492千円、セグメント間取引消去△6,445千円によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

ITサービス事業において、前連結会計年度に株式交換による株式会社インフォトップキャピタルの株式取得に伴い暫定的に算出されたのれん1,249,964千円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了し、1,138,117千円に変動しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	I Tサービス (千円)	コンテンツ (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,940,305	3,702,622	5,642,928	—	5,642,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,625	33,190	51,815	△51,815	—
計	1,958,930	3,735,813	5,694,743	△51,815	5,642,928
セグメント利益	211,784	1,290,436	1,502,221	△21,554	1,480,667

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに帰属しない全社費用△7,096千円、セグメント間取引消去△14,457千円によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する事項

当第2四半期連結会計期間において、株式交換により株式会社アリスマティックを連結子会社といたしました。その結果、コンテンツ事業における資産の金額が885,111千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

コンテンツ事業において、当社は株式交換により株式会社アリスマティックを連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては728,711千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社アリスマティック (以下「アリスマティック」という)

事業の内容 インターネット及びモバイルにおける広告代理店業
コンテンツ企画、制作、運営、経営コンサルティング

② 企業結合を行った主な理由

魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、スマートフォン向けゲーム・PCオンラインゲームでの運営ノウハウ及び開発力を培ってきた当社及び女性向けコンテンツでの実績をもつアリスマティックが、コンテンツの共同開発並びに効率的な運営をすることにより、事業基盤強化に大きく貢献するため。

③ 企業結合日

平成29年6月5日 (みなし取得日 平成29年6月30日)

④ 企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社、アリスマティックを株式交換完全子会社とする株式交換

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

企業結合日前に所有していた議決権比率 — %

企業結合日に取得した議決権比率 100%

取得後の議決権比率 100%

⑦ 取得企業を決定するに至った根拠

当社が、株式交付をする企業であること及び株式交換前の当社株主が結合後企業の議決権比率のうち最も大きな割合を占めることから、当社を取得企業として決定しております。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結会計期間の期末 (平成29年6月30日) をみなし取得日としているため、該当はありません。

3. 被取得企業の取得原価及びその対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合日の株式会社アエリアの普通株式の時価	984,188千円
	企業結合日の新株予約権の時価	50,286千円
取得原価		1,034,475千円

4. 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

① 株式の種類別の交換比率

アリスマティックの普通株式 1株 : 株式会社アエリアの普通株式 153.062株

② 株式交換比率の算定方法

両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼し、提出された報告書に基づき当事者間で協議の上、算定しております。

③ 交付した株数

153,062株

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

① 発生したのれん金額 728,711千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上することができましたが、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上していたことにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、かつ当第2四半期連結会計期間末において、現金及び預金と時価のある有価証券の合計額は5,772,689千円であり必要な運転資金を確保しております。なお有利子負債668,642千円（総資産の5.6%）を有しておりますが遅滞なく返済されており、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。